



オープンシステム運営協議会・ 医師会合同臨床研究会の開催	2
職場紹介 放射線科	3
感染管理認定看護師のお仕事	4
放射線治療連続1000日達成にて表彰される	5
平成30年度大規模地震時 医療活動訓練に参加して	6
新人看護師「リフレッシュ研修」を開催して	7
リレーフォーライフ大分2018に参加して	8
サマーコンサート	9
大在地区納涼盆踊り大会に参加して	10
ピア・ガーデン敢行♪	10
人事異動	11
編集後記	11
外来診察医担当表	12



大観峰（撮影：企画課 生野充章）

オープンシステム運営協議会・ 医師会合同臨床研究会の開催

オープンシステム運営協議会並びに大分医療センターと地域の医師会による
合同臨床研究会を大分センチュリーホテルにて開催しました。

3名の新任部長による講演



山下消化器内科部長
「ウイルス肝炎を治したい」



住野泌尿器科部長
「骨盤臓器脱に対する
minimal mesh repair の試み」



上野代謝・内分泌内科部長
「高齢者の糖尿病治療」

3人の新任部長の先生方による講演は
私たちが普段聞くことのできない貴重な
講演でした。

9月20日、運営協議会では、当院の穴井院長の挨拶に始まり、
澤口大分東医師会会長の挨拶、新委員の紹介、院外委員（大分東、大
分郡市、大分市、臼杵市、津久見市の医師会）の方々から地域医療連
携に関する要望や意見などをいただき、当院からは地域医療連携推進
の取り組みについて、ご説明しました。

引き続き行われた合同臨床研究会には、各医師会のオープンシステ
ム登録医48名、当院から医師19名を含む66名に加え、地域の救急
医療を支える大分市消防局、臼杵消防本部、津久見消防本部の救急隊
員（12名）の方々、総勢114名の参加数となりました。



懇親会/桜の間



受付にて

研究会終了後の懇親会では、日頃、地域医療連携でお世話になって
いる地域の医師会の先生方や救急隊員の方々と会話が弾み有意義な時
間を過ごしました。

最後になりましたが、講演いただいた3名の先生方に感謝するとと
もに、お忙しい中参加していただきました医師会の先生方及び救急隊
員の方々、そして職員の皆様にお礼申し上げます。

（経営企画室長 長下 和裕）



職場紹介

放射線科



放射線科メンバー

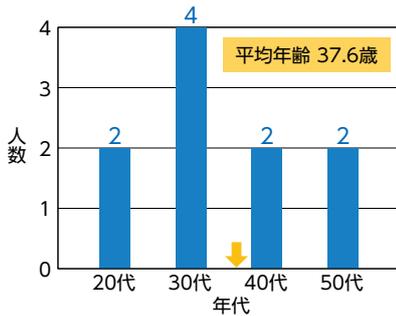
後列(左から) 宮本 真衣、草川 恒星、森 康哲、
中村 和樹、浦川 里佳、里園 邦仁
前列(左から) 増井 飛沙人、廣瀬 親、渋谷 充、
出水 健教

大分医療センター放射線部門は診療放射線技師 10 名で、うち女性技師 2 名、受付 1 名の部署です。一般撮影装置から放射線治療装置・エコー機器までほぼ全てのモダリティーが整備されています。放射線技師数より機器の数が多く、当直も行っているため、検査が重複する際には検査開始時間を調整し何とかやりくりしている状況です。新任や転入者にとっては、種々の機器に携われることでモチベーションを高く持ち続ける事が出来ています。これらの機器で実験や被ばく線量を測定し、患者様に安心・安全な検査を施行できるように、いつも機器を整備しております。また、放射線技術科の学生実習においては、検査から接遇まで、レポート提出・課題発表等の指導を行っています。

(副放射線技師長 廣瀬 親)

職場年齢ヒストグラム

バランスが取れた、実務重視の構成です。



放射線受付

こちらで全ての受付を行っています。受付後、各検査室にご案内します。



職員表彰

平成29年度最優秀賞を頂きました。テーマは、「放射線被ばくに対する患者不安低減のための取組」でした。



今年度の目標

安心・安全・最良な検査を目指します。

平成30年度 放射線部門目標

- ・地域医療支援病院及びがん診療連携協力病院として「愛の心・手」による安心・安全・最良な医療の提供
- ・がん診療連携協力病院として、最新の安全で高品質な放射線治療の提供
- ・活気ある病院づくりのための病院運営・活動への参画



医療安全勉強会

今年度も医療安全勉強会において、放射線教育研修を開催しました。

テーマは、「知って得する放射線のお話」「本当は怖い MRI 入室」です。



診療放射線技師室

技師長が鎮座しています。(右写真) 定期確認・定期検査(原子力規制庁関連監査)と病院機能評価が終わり、とても疲れております。(乱雑)



ちょっとしたレク

毎月29日は、肉の日です。中村放射線部長の一声で参集。皆で美味しく食します。



かん せん かん り にん てい かん ご し

感染管理認定看護師のお仕事

現在のトピックス

薬剤耐性 (AMR) 対策 !!

「AMR 対策アクションプラン」をご存知でしょうか？これは国が出している計画です。簡単に言うと、抗菌薬の適正使用を行い、耐性菌を減らすプランです。

米国の外来における呼吸器の問題に対して、毎年4千万人に抗菌薬が処方され、そのうち、2万7千人は不要な抗菌薬であるとの報告があるそうです。

当院では今年度 AST を立ち上げ抗菌薬の適正使用に取り組んでいます。広域抗菌薬使用患者、血培陽性者、重症感染症患者などをASTで検討しています。時々「ICT ラウンド記録」とカルテに記載があると思います。これがASTで検討したコメントです。ASTメンバーも日々学びながら、少しでも適正使用に近づけていけるよう頑張っています。

今後も、ASTならびにICTを宜しく願います。

(三重野 純子)



AST & ICT
メンバー



カンファレンス風景



放射線治療連続 1000日達成 にて表彰される

8月7日、当院は「放射線治療連続1000日達成」により(株)バリアンメディカルシステムズから表彰されました。

放射線治療装置メーカーの(株)バリアンメディカルシステムズでは、放射線治療の安全な運用と、装置の適切な管理の推進のために、「放射線治療連続1000日」を達成した施設に対し表彰を行っています。これは、九州では2施設目の快挙です。

現在、高精度放射線治療装置時代になり、装置には数多くのセンサーが緻密に埋め込まれています。小さなエラー一つで、装置は安全確保のために止まってしまうため、装置の管理には、細心の注意が要求されます。当院の放射線治療装置は2015年の3月13日に現在の装置に更新されました。当初は初期トラブルや操作性の問題で患者さんをお待たせすることはありましたが、メーカー側の素早い対応や、現場での技師の創意工夫により、その日の治療業務を停止することなく続けていくことができました。

これらは、日々の日常点検や定期点検を確実にを行い、小さな異変にも適切に対応し、装置の正常稼働に気を配ってきた結果だと考えます。また、メーカー側の対応も大分という地域性を感じさせないほど迅速に対応していただきました。「翌日の治療までには確実に間に合います。」と、気迫を込めて、深夜まで修理をしていただいた、エンジニアの皆様には感謝いたします。

大分医療センターの放射線治療は、南海医療センターの放射線治療停止により、その重要度を増し、患者の中には、臼杵や佐伯から60分～90分かけて毎日通院されるケースが増えつつあります。そのような方のためにも連続稼働1000日は1つの通過点としてとらえ、次の1500日2000日、止まることのない放射線治療達成のため、日々の業務を誠実に努めていきたいと考えております。(放射線治療専門技師 出水 健教)



平成30年度 大規模地震時医療活動訓練に参加して

8月4日、内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練が実施されました。この訓練は、南海トラフ地震を想定し、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に関わる組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図ることを目的としています。全国より、DMATや医療関係者だけではなく、自治体関係者、消防、警察、自衛隊など多くの関連機関からの参加がありました。



東北や静岡からの支援 DMAT を5隊受け入れ、本番さながらの熱気あふれる活動訓練

8月4日 午前7時40分 大分市周辺の想定災害状況



- 高速道路：大分～光吉間 通行止め
- 一般道路：国道10号線 日出～大分間 通行止め
- 大分医療センターは建物に重大な損壊はないが、1階～2階の入院患者及び職員は全員3階以上に避難している



参集したDMAT隊員に当院の状況を説明する院長

当院は大分市の東部臨海地域にあり、南海トラフ地震が発生した際には震度6強および津波被害が想定されます。県対策本部と連携、調整を図り病院避難にむけての本部活動訓練として参加しました。

訓練当日は、DMAT 隊員のほか院長を始め、事務部長、看護部長、管理課の職員も参加し、大阪医療センターからコーディネーターも迎えて、アドバイスを受けながらの訓練でした。



活動訓練は、病院避難をするため県対策本部へ衛星電話やE M I S を利用しての支援要請を行い、院外搬送を行うための患者情報の整理・報告、情報の共有のためのツールや整理など体制のあり方など当院での課題がみえてきました。その中でも、本部活動においては、現状の問題の把握から問題リストを作成し方針を宣言し可視化する重要性を体験しました。また、それぞれが活動報告を迅速に行い不具合が生じた際には、すぐにブリーフィングを持ち修正を行うことで混乱をなくし、円滑な活動が行えることを学びました。

訓練後には、懇親会があり大分県の災害に携わる方々や全国各地の DMAT 隊員と情報交換、交遊の場をもつ機会を頂き、とても楽しく交流を深めることができました。災害は、いつ発生するか分かりません。日頃から情報交換を行い実際の災害時には助け合える関係を築き、災害に備えていきたいと思えます。

(DMAT 隊員 川並 裕美/手術室副看護師長)

新人看護師「リフレッシュ研修」を開催して

7月20日、「同世代の仲間たちとの交流を通して、心身のリフレッシュを図る」ことを目的に、新人看護師16名は、大分スポーツセンター『希感舎』で、リフレッシュ研修を行いました。この院外研修は平成29年度に初めて実施し、今年度は2回目の開催となりました。

研修では、イラストの内容を伝えていく伝言ゲームや紙のキャッチボールを行い、最初は緊張していた研修生も、段々と打ち解け、声を掛け合い、笑顔でハイタッチをしていました。

人に思いを伝えることの難しさや、チームワークの重要性を実感することができました。

次に、研修の目玉である口演と落語がありました。矢野大和先生の口演では、人を引きつける語り一同魅了されてしまいました。「『あなたに、また会いたい。』といわれる人になって。」という先生のメッセージは、研修生の心に強く残ったようです。また、柳家花ん謝さんの落語では、扇子一つ・表情・音・見せ方でいろんなメッセージを伝えるという、計算しつくされた語りに感動しました。



締めくくりの懇親会では、院長・副院長・看護部長をはじめとする師長さん方にも参加していただき、普段聞けないような、新人時代の話しや教えを得ることができ、研修生もこれからの励みに繋がりました。

今回の研修で、新人看護師は大いに笑い、同期の看護師や先輩の方々と語り合うことでリフレッシュし、明日への活力が見出せ、本当に有意義な一日だったと思います。

(副看護師長 村山 圭美)





リレー・フォー・ライフ 大分2018に参加して

9月8日(土)～9月9日(日)

リレー・フォー・ライフとはがんと闘う方々の勇気を称え、がん患者・家族・友人・支援者と共に交代で夜通し歩き続けることで、一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会の実現のために募金活動を行うチャリティーイベントです。



スターティングメンバー



大分スポーツ公園大芝生広場にて、リレー・フォー・ライフ大分2018が開催されました。

今年は残念ながら悪天候の中での開催となりましたが、4,000の方が参加されていました。当院では、病院行事の一つとして定着しており、記念すべき10回目の参加となりました。

ME・薬剤部



5階病棟



放射線科



外来



チームテント企画



当日は、参加された患者さんご家族、各病棟・各部署のスタッフ延べ74人の方に参加・協力していただき、天候の許す限りタスキをつなぎ、患者さん・ご家族との大切なひと時を過ごしました。

2014年よりがん患者さん・ご家族が気持ちを表出したり、想いを共有する場、がんの啓発につながればと『がん川柳作品展』をチームテント企画として行っています。今年も県内外から集まった80作品を展示し、その作品を通じて参加者の方と触れ合うことができました。

3階病棟



最後になりましたが、ご参加・ご協力いただいた患者さん・ご家族・全職員の方々へ、チームを代表してお礼申し上げます。そして、これからも患者さん・ご家族のために活動を続けていきますので、よろしく願い致します。

(緩和ケアチーム がん性疼痛看護認定看護師 廣田 紘子)



平成30年度
津久見櫛の実
少年少女合唱団
in 大分医療センター
サマー
コンサート

7月24日、津久見櫛の実少年少女合唱団によるサマーコンサートを開催しました。
元気いっぱいの歌声にみなさん癒されました。 (医療サービス向上推進委員会)

津久見櫛の実少年少女合唱団は、1979年、青少年健全育成を目的に津久見市により設立された合唱団で、来年40周年を迎えます。

現在、3才から大学生まで、約100名の団員が、リーダーを中心に、毎週土・日、楽しく歌っています。

主な活動としては、演奏活動のほか、病院、支援学校、特別養護老人ホーム等を訪問するなど奉仕活動にも積極的に取り組むなど、地域の皆様に愛される合唱団を目指しています。



たくさんの元気ももらって感動する穴井院長



毎年恒例の扇子踊り。戦国時代にできた京舞の流れをくむ扇子踊りは、津久見を代表する郷土芸能となっています。



大在地区 納涼盆踊り大会 に参加して

8月18日、大在公園グラウンドで開催された
大在地区納涼盆踊り大会に、当院の職員約50名で参加させていただきました。
当院の参加者のほとんどが鶴崎踊りも大在音頭も踊ったことがなかったため、実行委員会を通じて先生をご紹介いただき、当院の会議室で練習を重ねました。当日は天候にも恵まれ、涼しい一日となり、全員で最後まで踊りきる事が出来、**楽しく踊ったで賞**という賞までいただきました。



初めは地元の方との交流が参加の目的でしたが、終わってみれば職員同士の交流も深まり、個人的にも初の盆踊り参加を担う貴重な経験をする事が出来、大変充実したものとなりました。大会の実行委員会をはじめ、関係のみなさまにはこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(盛り上げ隊リーダー
放射線科 里園 邦仁)



暑い夏の夜!さらに**熱く** ビア・ガーデン**敢行**♪

(庶務班長 立川 秀一)



カンパニー!



7月18日、ビアガーデンを開催しました。
総勢50名が集まって暑気払い?
いえ、もっと熱くなりました!



人事異動

退職・転出等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考	発令事項	発令日	職名	氏名	備考
育休	30. 8. 3	2階病棟看護師	松浪 由衣		育休	30. 9. 26	1階病棟看護師	大海明日香	
育休	30. 8. 7	1階病棟看護師	田染菜都美		退職	30. 9. 30	管理課事務助手(非常勤)	上柿 澄子	
退職	30. 8. 31	5階病棟看護師	小佐井祐日子						

採用・転入等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考	発令事項	発令日	職名	氏名	備考
採用	30. 8. 7	地域医療連携室事務助手(非常勤)	佐藤あゆみ		配置換	30.10. 1	薬剤師	黒岩 敬文	沖縄病院
院内配置換	30. 9. 1	2階病棟看護師	三浦 弘奈	育休復帰	採用	30.10. 1	企画課経理係	佐々木勇希亜	
採用	30. 9. 3	外来クラーク(非常勤)	後藤 彩香		採用	30.10. 1	企画課事務助手(非常勤)	高橋 大佑	
採用	30. 9. 11	管理課事務助手(非常勤)	岩崎亜由美		採用	30.10. 1	外来クラーク(非常勤)	原 ひかる	
採用	30. 9. 18	医師事務補助者(非常勤)	庄司美智子						

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

基本方針

- 一 365日24時間断らない診療を目指します
- 一 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- 一 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- 一 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- 一 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- 一 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

大分医療センターのロゴマークについて



全体のコンセプト

Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

「緑と赤」…昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
「青」……大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
「黒」……地域と大分医療センターを結び架け橋を表す。

編集後記

近頃のニュースで大分のボランティアの尾畠さんが話題になっていました。同県の有志が誇らしい行動をされていたことがわかり、感銘を受けました。当院の理念である「愛の手・心」で病める人々に寄りそう医療を提供し、患者様一人一人と大事に関わっていきたいと初心を思い出させて頂きました。

(リハ科編集委員)

編集委員

委員長 奈須 伸吉

委員 塩月 洋子 植村 徹也 渡邊 公紀 園田 美幸 渋谷 充 花木 祐介 今村 健二
有働 舞衣 梅木 祐 竹之内須賀子 森崎 久美 姫野 里美 國分 克典 亀之園照彦
長下 和裕 生野 充章 鶴崎 裕介 佐藤 剛

外来診察医担当表

【平成30年11月1日現在】

■ 受付時間 8:30~11:00 ■ 診察開始時間 8:30~

※予約の変更は月~金の各13:00~15:00にご連絡ください。(☎097-593-1111)

【一般外来】 ※連携医療機関の方は8:30~17:15までに地域医療連携室(☎097-593-1112)へご連絡ください。

診療科 曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科	森田真智子	上野 大輔	上野 大輔 森田真智子	上野 大輔 森田真智子	上野 大輔 森田真智子
腎臓内科			青木 宏平 (完全予約制)(午前中)		
膠原病内科			前島 圭佑(午前中)		
消化器内科 (肝センター)	大塚雄一郎 山下 勉 草津 工喜	豊田 亮 室 豊吉 山下 勉 大塚雄一郎(~10:00)	塩月 洋子 山下 勉 水内 梨絵	草津 工喜 山下 勉 塩月 洋子	水内 梨絵 大塚雄一郎 豊田 亮
工 科	塩月 洋子	水内 梨絵	草津 工喜	有川 淳子	遠藤 美月
循環器内科	有川 雅也 古川祐太郎	有川 雅也 植村 徹也	山末 象三 植村 徹也	山末 象三 古川祐太郎	有川 雅也 古川祐太郎
呼吸器内科 (呼吸器センター) ※新患は紹介患者のみ	一宮 朋来 中野 哲治	一宮 朋来 中野 哲治	一宮 朋来 中野 哲治	中野 哲治 山末 まり	一宮 朋来 橋永 一彦
腫瘍内科(呼吸器)				西川 和男(午前中)	
外 科	椛島 章 河野 浩幸	穴井 秀明	田原光一郎 梅田 健二	梅田 健二 南原 翔	田原光一郎 渡邊 公紀
乳腺外科	武内 秀也※	※第1・第3月曜日 受付時間13:30~15:30 診療時間13:30~16:30のみ			
呼吸器外科	(手術日)	高祖 英典	高祖 英典	(手術日)	高祖 英典
整形外科	丸井 研吾 曾根崎至超	丸井 研吾 曾根崎至超	(手術日)	丸井 研吾 曾根崎至超	丸井 研吾 曾根崎至超
		河野 正典※	※第1・3・5火曜日 受付時間9:30~		
泌尿器科	午 前	午前(10:00まで)	午 前	午前(10:00まで)	午 前
	住野 泰弘 奈須 伸吉 中島 駿佑	甲斐 友喜(新患) 住野 泰弘(新患) 中島 駿佑(新患)	甲斐 友喜 住野 泰弘 中島 駿佑	住野 泰弘(新患) 甲斐 友喜(新患) 中島 駿佑(新患)	甲斐 友喜 奈須 伸吉 中島 駿佑
	紹介は「外来担当医」宛て				
	午後(予約のみ) 各医師で分担				
婦 人 科	岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり
			西田 欣広※	※受付時間14:00~16:30 診療時間14:00~17:00	
放射線科	中村 雄介	笠井 尚史(午前) 脇山 浩明(午後)	中村 雄介	笠井 尚史	中村 雄介
内 視 鏡 (胃腸センター)	豊田 亮 水内 梨絵	大塚雄一郎(10:00~) 塩月 洋子 草津 工喜	豊田 亮 大塚雄一郎	豊田 亮 大塚雄一郎 水内 梨絵	山下 勉 塩月 洋子 草津 工喜
内科系疾患で 専門診療科の判断が困難 な場合の担当科	消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】 ※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

ひまん外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 14:00~16:00	TEL 097-593-1111 (内線235)
ストーマ外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 9:00~12:00	TEL 097-593-1112 (内線497)
緩和ケア外来	毎週 水曜日 (祝日を除く)	診察時間 11:00~12:00	TEL 097-593-1112 (直通)
フットケア外来	第2・第4 火曜日 (祝日を除く)	診察時間 8:30~11:00	TEL 097-593-1111 (内線235)



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人
国立病院機構

大分医療センター

<http://nho-oita.jp/>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 地域医療連携室直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651